

研究室情報 1

平成 13 年度研究プロジェクト報告

1. 報告

「教育環境のシステム化による大学教育の改善・整備 — 実践的シミュレーション型教育の導入を目指して — (代表: 菊池武烈教授)」

(1) 目的: ファカルティ・ディベロップメントの一環として学部生・大学院生に対する教育環境の改善が求められている。教育学研究科はその基盤となる発達と教育, カリキュラム等についての先端的な理論的・基礎的研究において多くの蓄積を持っている。しかし, これらの基礎的研究は, 教育メディアやカリキュラムの構造化などの応用・開発研究と, それを実践するための教育用メディアシステムの設置とがあって, 初めて教育方法としての効果を持つものである。本プロジェクトの目的は, 教育学研究科がこれまでに蓄積してきた, 教育に関する基礎的研究を基にして, 教育環境のシステム化によって実践的シミュレーション型教育を導入し, 教育学研究科・教育学部自体の教育方法の改善を目指すものである。

(2) 本年度の成果: プロジェクトの第 1 段階として, これまで教育学研究科が行ってきたカリキュラムの改善や授業方法の改善を, ハードまで含めた完成された形で学生・大学院生に提供するための準備を行った。これにより学生の学力を育成する多彩な講義・演習形式を実現できる。特に, 大学院における高度職業人の育成や, 学部生の「介護等体験」などの導入にともない必要とされる実践即応型の講義・演習—観察授業, 間接体験, ケーススタディ, 実践的シミュレーション教育等—が, 各種のマルチメディア資料やソフトの使用を通して実現できる。これらは, 新しい大学教育の研究開発を視野に入れた, 教育改革の実験的モデルともなる。